

## 令和元年度事業報告及び収支決算報告について

### 令和元年度事業報告の概要について

大杉谷登山歩道では、4月19日にオープニングセレモニーを行いました。1月24日までの期間中に、1758パーティ4103人の登山届の提出があり（前年比105%）、入山者数6260人（前年比91%）でした。今シーズンはゴールデンウィークの天候不順に加えて、お盆期間、9月以降の週末に台風が頻発したため、登山者数が落ち込みました。入山届の提出に関しては前年に比べて高くなっており、啓発活動による効果と思われます。また、入山協力金の試行導入による登山者の落ち込みはありませんでした。

以下、登山センター業務について報告します。

### 事業内容

#### 1. 自然保護及び美化清掃の啓発

昨年度に引き続き環境省の「平成31年度グリーンワーカー事業（吉野熊野国立公園大杉谷登山道清掃業務）」を活用し、登山歩道の環境整備に努めました。今年度はグリーンワーカー事業として2回実施し、計4日間、延べ60人の活動となりました。堂倉避難小屋周辺ではまだ昔のゴミが多数放置されており、来年度以降も継続して清掃活動を行っていく予定です。

堂倉避難小屋の日常的な管理及び清掃については今シーズンも栗谷小屋管理人に協力していただき共同で行いました。

一般登山者に対してはSNSや登山センター主催のイベントを活用して自然保護及び美化清掃の啓発を行いました。登山センター主催のイベントではゴ

ミ袋を配布し、美化清掃に協力していただくことで当事者意識が生まれ、啓発に繋がったと感じています。

## 2. 大杉谷登山歩道の維持管理

大杉谷登山歩道維持管理業務を三重県より受託し、日出ヶ岳登山口から第三発電所登山口までの歩道区間において、月4回以上のパトロールや登山歩道の軽微な補修、台風後の安全確認、倒木の処理、登山者の安全を確保するための看板や施設の損傷等の点検を行いました。

歩道の簡易な修繕については、関係者の皆様にご協力いただき実施した「大杉谷登山歩道関係者整備」や一般の参加者を募った「ボランティア整備プロジェクト（森林環境教育及び自然保護活動）」、通常のパトロールによって対応致しました。

また、環境省の直轄管理となる平等嶺吊橋と取付歩道300mの維持管理については、環境省から業務を受託し、点検パトロールや登山歩道の軽微な補修、登山者への安全啓発を行いました。

## 3. 安全登山の啓発

第三発電所の登山口及び大台ヶ原駐車場において、登山計画書の提出および安全登山を呼び掛ける看板、チラシ等による啓発を積極的に行い、事故の防止に努めました。毎月10回程度、大台警察署大杉谷駐在所と連携して大杉谷自然の家前にて啓発活動を行いました。また、エスパール交通の登山バス運行日は登山届を直接回収することで安全登山を呼びかけました。

#### 4. 大杉谷 PR 事業

登山センターホームページやSNSを有効に活用し大杉谷登山歩道の状況を登山者等に提供することで事故防止の啓発に努めました。

大台町観光協会などの町内事業所や三重県が行っている三重まるごと自然体験事業と連携し各種イベントへ出展するとともに、テレビ番組、雑誌等のメディアを活用し、大杉谷のPR活動を行いました。

SNSの活用には、facebook、instagramをホームページと連動させるとともに、今年度からTwitterで毎日大杉谷の天気を発信するなどこまめな情報発信を行っています。

年々、関東地方からの登山者や外国人登山者が増えてきており、PRの効果を感じられます。今後はPRを行いつつ、受け入れ体制をしっかりと整えていく作業を行っていきます。

#### 出展イベント一覧

	日程	イベント名	場所	備考
1	4月6日～7日	モンベルフレンドフェア	大阪	観光協会
2	5月10日～11日	第7回 山小屋サミット	東京	
3	5月18日～19日	モンベルフレンドフェア	名古屋	観光協会
4	6月8日～9日	第7回 夏山フェスタ	名古屋	
5	9月14日～15日	モンベルフレンドフェア	横浜	観光協会
6	11月2日～3日	モンベルフレンドフェア	大阪	観光協会
7	3月14日～15日	モンベルフレンドフェア	横浜	中止
8	3月28日～29日	モンベルフレンドフェア	大阪	中止

## 各種 SNS の推移

		フォロワー数 (4/1)	フォロワー数 (3/31)	更新頻度
1	Facebook	1 0 3 1	1 2 1 2	1 週間に 1 回
2	Instagram	2 0 0	3 5 7	1 か月に 1 回
3	Twitter	0	2 3 0	毎日
4	Line	0	1 9 4	1 か月に 1 回

### 5. 山岳遭難事故への対応

警察及び消防の出動案件としては、2件でした。(重傷1件、疲労1件) また、山岳救助隊の出動としては、桃の木山の家スタッフの遭難事故の際に1日出動しました。

その他、大杉谷登山歩道周辺における登山者以外の事故については、3件発生しています。(工事業者、山小屋スタッフ、中電関係者)

### 6. イベントの開催

三重県から受託した「森林とふれあう自然公園環境整備業務」により参加者を募集し、地元ガイドによる森林環境教育と日出ヶ岳～ミネコシ区間の階段作りや色褪せた道標の色塗りなどの整備を実施しました。

関係者整備では大杉谷登山道の関係者(地元ガイド、山岳救助隊、大台警察署、環境省、三重県)にお集まりいただき、桃の木山の家下流部の土砂撤去、桃の木山の家上流部の石畳へのモルタル施工、崩壊地下流部へ簡易鎖の設置、与八郎滝周辺の倒木除去を実施しました。

参加者の皆様のおかげで、職員だけでは中々手が回らない箇所を整備を行うことができました。今後もこれらの整備イベントは継続して行っていきます。

## イベント一覧

7/27,28	ボランティア整備プロジェクト	主催	台風接近のため中止
9/21,22	ボランティア整備プロジェクト	主催	台風接近のため中止
10/12,13	ボランティア整備プロジェクト	主催	台風接近のため中止
10/17,18	大杉谷登山歩道関係者整備	主催	台風接近のため中止
11/5,6	大杉谷登山歩道関係者整備	主催	催行
11/9,10	ボランティア整備プロジェクト (森林環境教育及び自然保護活動)	主催	催行
11/16,17	ボランティア整備プロジェクト (森林環境教育及び自然保護活動)	主催	催行

## 7. 収益事業について

登山者の利便性を図るための登山用品や地元産物等の委託販売、記念品等の自主販売を行いました。

しかしながら、本来であれば公益事業の資金を補てんするための収益事業であるにもかかわらず赤字となっており、今後は収益事業の廃止、もしくは公益法人に拘らず、一般法人へ変更するなどの対応を検討する必要があります。

## 8. 寄付金

登山口付近の大日トイレを維持していくための寄付金箱を設置し、トイレ使用者からの寄付金を募りました。入山協力金に協力していただいた方には無料開放していましたが、協力金との相乗効果でトイレの寄付金に協力していただいた方も増加しました。

令和元年度 トイレ寄付収入 (令和2年3月31日現在)

寄付金収入	金額
トイレ寄付金	84,190

## 9. 大杉谷入山協力金

10月5日（土）～11月24日（日）の期間で大杉谷入山協力金の試行導入を行いました。試行導入結果は以下の表にまとめました。

	場所	金額	備考
1	大杉谷登山センター	681,000円	職員+補助員
2	自販機（大杉谷側）	354,000円	無人
3	自販機（大台ヶ原側）	62,000円	無人
4	振込	3,000円	Twitter・電話
合計		1,100,000円	

また、併せて行ったアンケート調査には157件の回答がありました。多くの方が入山協力金を肯定的に捉えていただき一方、行政がきちんと管理すべき等のご意見もいただいております。今後協力金の使途を慎重に考える必要があると考えます。